【検討単	語】2017年度 第1回 単語	意味付け	参考単語	各班	【結果の記入方法】創作手話…◎ 合 競果の住方	成手話…○ 組み	合わせ…● アレンジ…ア 保存手話…保 ラベル追加…△ 検討不可…× 
				北海道	②● <考える>→<方法>		
		①戦いに用いる種々の道具や器具。刀や銃などの、敵を攻撃したり自分を守ったりするための兵器や武具。 ②何かをするための有力な手段となるもの。	-	東北関東	<ul><li>「最高」+「良い」+「方法」+左手を指さす</li><li>保 指文字「ヤ」の親指側を下から鼻先に付ける</li></ul>	-	
			-	北信越	ア胸から手のひらを出す		相手に「打つ手なし」と思わせるくらいの、強力な決め手となる。 →ろう者の間で使われている表現はないか?
45	「…を武器に…」の武器			東海	△ 「効果」に同じ。	保存手話	→打つ手なし、と思わせる決め手といえば、水戸黄門の「印籠」
		(例:「弁舌を武器にする」など) ※今回は、特に②について検討してください。		近畿	ア 「倒す」+「方法」		⇒水戸黄門の印籠を示す動作
				中国	<ul><li>左掌を右手でつかんだ状態で/表現/の動き</li></ul>	_	
				四国九州	<ul><li></li></ul>	+	
			北海東北田明北田東北田東北田東北田東北田	北海道	△ <突然>		
		思いがけず起こった衝撃的なことや驚くような こと。 「青天」は「晴れわたった空」を、「霹靂は「雷」 「雷鳴」を意味する古い表現。		東北	○ 「変化」+「驚嘆」(ゆっくり前に出る)		
	青天の雰霊			関東	言葉通りに表す。「青」+「天」+指文字「へきれき」	_	文字通りに表現しても長くなり、意味が分かりづらい。
46				北信越 東海	ア 頭が突然 Δ 「突然」に同じ。	Δ	→意味を捉えた表現としたい。保存手話はないか? →各班からの案では、突然である様を表すくいきなり>が多い。 ⇒くいきなり>にラベル追加。 ※北海道班・北信越班・東海班の案を採用
				近畿	保びつくり	→ ラベル追加	
				中国			
			-	四国	O 左手で/晴れ/ + 右手/雷/		
				九州	<ul><li>手話「突然」+手話「変わる」</li><li>&lt; 曳&gt;→&lt;大切&gt;</li></ul>		
			-	東北	○ 「大切」+左掌の上に握った右手を一緒に前に出す		"極意"とは、つまるところ、"最高の技術"
				関東	● 手を握った左腕を立てて、肘の下で開いた右手を回しながら握る		
		学問や技芸などで、核心となる大切な事柄。 奥義。	2	北信越	● 技+表す		⇒ < 最高 > + < 技術 >   ※東海班の案を採用
47	極意	(例:「極意を授かる」「極意を会得する」 など)	-	東海	● 「最高」+「大事」	組み合わせ	似たような語に"秘伝"がある。
			l +	近畿中国	● 「ひみつ」+「技術」	-	→ これは"秘密の技術"になる。  → < 秘密B·暗黙> + < 技術>
			-	四国	● /プロ/ + /技術/		
				九州	● 手話「最高」+手話「意味」		
			-	北海道	Δ < <b>E</b> <>		これは、"のけ者にする"表現がある。 →ただ、"置いてけぼり"には、①意図的にのけ者にする、②自然と置き去りになってしまった、の2つの場合がある。 →これらの意味に相当する表現は、保存手話でもある、"左側に向けて、両手<捨てる>"。  ⇒左側に向けて、両手<捨てる> ※北信越班・東海班の案を採用
			-	東北関東	<ul> <li>⑤ 右手で左腕を払う</li> <li>ア 右手入着を開いた左手の手首辺りに置き、左手を前に出す(人)</li> </ul>	7)\$	
		本所(東京都墨田区)を舞台とした本所七不	-	北信越	取り残される様子) <ul><li>● ほったらかし+独りぼっち (AとB 2つの表現)</li></ul>		
48	置いてけぼり	思議と呼ばれる奇談・怪談の1つで、全エピソードの中でも落語などに多用されて有名に		東海	保 置きざりにする仕草	ー 保 - 保存手話	
		なった。置き去りを意味する「置いてけぼり」 の語源とされる。		近畿	保 ひとりのけものにされる様子、排除	PK 13 3 BB	
			四国	中国			
				九州	◎△ ①人差し指のみを立てた右手から4指を立てた離す②手話「邪魔	ic.	
				北海道	<b>ア</b> 右<ひ>を頭に当てる→<思い出す> 参考:トラウマ		
		ふとしたシチュエーションで、過去の嫌な思い 出やトラウマが蘇り、実際には今該当している 状況ではなくても感情的なものまで噴き出して くる、例えば誰かに注意された時に、親に怒られた 瞬間がオーバーラップしたり、何かのイベント に参加しようとした時に以前の失敗を思い出し て足が動かなくなるなど。 これらの様に過去の嫌な経験が、なんらかの きっかけで鮮明に蘇り、感情まで害してしまう 事をフラッシュバックという。		東北	○ 「思い出」が開き+「再び」		これまでの経験や感情が思い出されること。  ⇒ <思いつく・思い出す>にラベル追加  ※北海道班(2動作目)・東海班(1動作目)・近畿班の案を採用
	フラッシュパック (flashback)		関東 北信越 東海 近畿 中国 四国		ア 右手人差指を額に当て、右手を握って開く		
49					<ul><li>ア 眼を振って頭を膨らます</li><li></li></ul>		
43					ア「思い出す」を素早く表現	― ラベル追加	
				中国			
				四国	◎ /過去/ + 目の前にパパっと現れてくる様子		
				九州	<ul><li>手話「過去」+手話「復活」</li><li>く人情&gt;顔から離す 参考:役に立たない</li></ul>		
		①思いやりがない。無情である。すげない。 ② 同情の余地がない。嘆かわしい。 (例:「情けない成績に終わる」「優柔不断な自分が情けない」など) ③みしめである。見るにしのびない。 (例:「ずぶぬれの情けない姿」「情けない声で訴える」など) ④無風流である。風情がない。	-	東北	<ul><li>参考:役に立たない</li><li>△ 「哀れ」と同じ(しかし、顔の表情は違う)</li></ul>		みじめであり、見るに忍びない。 →ろう者の間で使われている保存手話と言えば、"親指を下に向けて振る。" →親指を下に向けて振る。 ※四国班の案を採用
	情けない			関東	保留		
			東海	北信越	◎ 指文字「な」を使って泣く	保	
50				東海近畿	保 右手をおでこに充てる。 △ 「みっともない」	保存手話	
			-	中国	△ 「みつともない」	_	
			四国九州		<b>保</b> /涙/+ 親指を下に下げる		
				九州	ア 左手で目をかくし、右手手話「悲しい」		
		①きちんとしていない。整っていない。 (例:「だらしがないかっこう」「床にだらしなく寝そべる」など) ②節度がない。しまりがない。 (例:「お金にだらしがない人」「自分の	-	北海道	保 <ダラダラする>→<くだらない>		両手をぶらぶらする表現もあるが、一方で"指間を少し開けた両手2指(人差指・中指)
			-	東北関東	保         両手をブラブラ (顔の表情に注意)           ア         「不真面目」を数回繰り返す	-	
			-	北信越	保 3つ(福井・富山・石川)		を鼻下から左右斜めに下ろす"表現もある。 →広い意味で使えるのは、後者。
51	だらしがない		近畿中国	東海	保 両手をぶらぶらさせる。	─ 保 ─ 保存手話	⇒指間を少し開けた両手2指(人差指・中指)を鼻下から左右斜めに下ろす。 ※北信越班(富山)の案を採用
		子供のことになると全くだらしがない」など) ③体力や気力がない。根性がない。 (例「こ		近畿	◎ 気がゆるむ様子、油断	P1413 3 Mil	
		のくらいでへたばるなんでだらしがない」など)			■ 株二にまたのり、セナは朋をわなりかばす		
			-	九州	<ul><li>◎ 襟元に手をやり 左右に開きながら広げる</li><li>保 自分を指し、両手4指を下方に向けて振る。</li></ul>		
			北海道 東北 開東 北信總 東海 近畿 中国		△ 〈質〉		これは、<才能>と同表現で良いか? 一例えば、「首相になれる資質」の例文では、<才能>はややそぐわない。
				東北	● 指文字「し」+「質」		
					O 「性格」+「癖」		
52	<b>光</b> 質	生まれつきの性質や才能。資性。天性。		ア 指文字の「し」を「性格」の手話を表す <b>ア</b> 指文字「し」で質を表す		→ <性格>や<質>も、やや意味が異なる。 → "資質"独自の表現が必要。 → 指文字 < シ > とく質 > の合成がしっくりくる。  ⇒ 指文字 < シ > でく質 > の動作 ※北信越班・東海班・四国班の案を採用	
32		(例:「両親の資質を受け継ぐ」「資質に恵まれる」など)		<ul><li>「自然」+「くせ」</li></ul>	合成		
				ア /シ/ の形で/性格/の動き			
				九州	△ 手話「性格」		
			-	北海道 東北	<ul><li>&lt;考える&gt;→&lt;目的&gt;</li><li>「思う」+「方向」</li></ul>		
			-	関東	ア       右手人差指で頭を指して(思う)から腹を指す(気持ち)		<考える>+<目的>や、<思う>+<方向>などがあるが、 つまるところ、<考える>ということ。 ⇒<考える・思料>にラベル追加
		どうするつもりかという考え。心の向かうところ。思わく。 (例:「相手の意向を確かめる」「意向にそ	ż	北信越	● 気持ち+方向		
53	意向		東海	東海	● 「思う」+「方向」		
		うよう努力する」など)	-	近畿	ア 「思う」+「方向」	_	
			-	中国四国	● /意志/ + /方向/	+	
			四国	to	- 7 Marter 1 7 27 PM7	+	

問題となっている事柄。審議しなければならない事柄。 (例:「重要案件」「緊急の案件から審議する」など) 工夫して考え出すこと。案出。くふう。 (例:「考案者」「新しいデザインを考案する」など) ①案を考え出すこと。ある案を最初に言い出すこと。 (例:「旅行しようと発案する」など) ②譲案を提出すること。 (例:「発案権」など) 前もって心の中で考えておくこと。また、その案や考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」など)		北海道 東北 関係 東北 原 田国 上海 北海 北海 北東 東北 東 北 東 北 東 東 北 東 東 北 東 北 城 海 地 四 国 上 州 北 海 北 、 東 東 北 ま 近 も 、 五 、 五 、 五 、 日 、 日 、 五 、 五 、 五 、 五 、 五		「楽」+「問題」 上に向けた左塚に右親指の指先を付け、前に弾く 頭から楽+項目 要を * 件相文字) テーマにアレンジ 必要+業 Lは/ 第/ その腕に沿って R①で下に下ろしていく 手話「問題」+手話「協議」  「考える」+「楽」 「考える」+「楽」 「考える」+「楽」 「考える」+「楽」 (こめかみに指文字「ア」を当てて前に弾く 考える+類から楽 工夫・ 楽 考える+集 エ大・ 楽 Lは/ 第/ Rは/ 考える/ 手話「考える」 + 手話「楽」 「思いつく」+「楽」 「思いつく」+「楽」 「あんる」+手話「楽」 「思いつく」+「楽」 なの光を登明+頭から楽 こめかみに当ててから 楽 アイデア 楽+出す	△ ラベル追加 ● 組み合わせ	この言葉に、〈案〉の手話を使うのはそぐわない。 → "問題となっている事柄、審議しなければならない事柄。なので、〈事〉の手記良いのでは? → 意味としては、〈問題〉のほうが、よりしっくりくる。 ⇒ 〈問題〉にラベル追加。 ※東北班(2動作目)・九州班(1動作目)の案を採用  人差指で、何かをひらめいた様子を表す手話として、〈発明〉がよく見られる表計 → この表現のみで良いか? → "工夫する"の意味もある。 ⇒ 〈考える〉 + 〈発明〉  これは、〈案〉の手話が必要になる。 → 中国班や九州班の〈案〉 + 〈出す(提出する)〉が適している。
事柄。 (例:「重要案件」「緊急の案件から審議する」など)  工夫して考え出すこと。案出。くふう。 (例:「考案者」「新しいデザインを考案する」など)  ①案を考え出すこと。ある案を最初に言い出すこと。(例:「旅行しようと発案する」など) ②議案を提出すること。 (例:「発案権」など)  前もって心の中で考えておくこと。また、その案や考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」		関東 北東海 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		上に向けた左掌に右親指の指先を付け、前に弾く 頭から業+項目 業 + 作相文字) テーマにアレンジ 必要 + 整 Lは/ 案/ その腕に沿って R①で下に下ろしていく 手話「問題」 + 手話「協議」 「考える」 + 「業」 「考える」 + 「業」 「考える」 + 「業」 「考える・事 工夫 * 案 考える+集 工夫 * 案 考える+集 工夫 + 案 「更いつく」 + 「業」 「思いつく」 + 「業」 「思いつく」 + 「業」 右手、差指の指先をこめかみに当で弾く + 「業」 6本の指を廻り・項から案 フカウスに当てでから 案 アイデア 案 + 出す	ラベル追加 ● 組み合わせ	→ "問題となっている事柄、審議しなければならない事柄。なので、<事>の手記良いのでは? → 意味としては、<問題>のほうが、よりしつくりくる。 ⇒ <b>〈問題&gt;にラベル追加。</b> ※東北班(2動作目)・九州班(1動作目)の案を採用  人差指で、何かをひらめいた様子を表す手話として、<発明>がよく見られる表記→この表現のみで良いか? → "工夫する"の意味もある。 ⇒ <b>〈考える〉</b> + <b>〈発明〉</b> これは、〈案〉の手話が必要になる。
事柄。 (例:「重要案件」「緊急の案件から審議する」など)  工夫して考え出すこと。案出。くふう。 (例:「考案者」「新しいデザインを考案する」など)  ①案を考え出すこと。ある案を最初に言い出すこと。(例:「旅行しようと発案する」など) ②議案を提出すること。 (例:「発案権」など)  前もって心の中で考えておくこと。また、その案や考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」		東海 近間 九海北 関本北 関本北 関本北 関本 東海 北海越 中国 九海道 東近 東面 九海道 東北 東近 東近 東西 北海越 東北 東近 東西 北海越 東北 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近		<ul> <li>業 + 件借文字)</li> <li>テーマにアレンジ</li> <li>必要・案</li> <li>Lは/案/ その腕に沿って R①で下に下ろしていく</li> <li>手話「問題」 + 手話「協議」</li> <li>「考える」 + 「楽」</li> <li>「考える」 + 「楽」</li> <li>「考える」 + 「楽」</li> <li>「あかみに指文字「ア」を当てて前に弾く考える+類から案</li> <li>工夫・案</li> <li>考える+集</li> <li>工夫・案</li> <li>上は/案/ Rは/考える/</li> <li>手話「考える」 + 手話「楽」</li> <li>「思いつく」 + 「楽」</li> <li>右手入差指の指先をこめかみに当て弾く + 「楽」</li> <li>なの指令を弾門・頭から案</li> <li>こめかみに当ててから 案</li> <li>アイデア</li> <li>案 + 出す</li> </ul>	ラベル追加 ● 組み合わせ	→意味としては、<問題>のほうが、よりしつくりくる。  ⇒ <問題>にラベル追加。 ※東北班(2動作目)・九州班(1動作目)の案を採用  人差指で、何かをひらめいた様子を表す手話として、<発明>がよく見られる表すしての表現のみで良いか? → "工夫する"の意味もある。  ⇒ <考える> + <発明> これは、<案>の手話が必要になる。
エ夫して考え出すこと。案出。くふう。 (例:「考案者」「新しいデザインを考案する」など)  ①案を考え出すこと。ある案を最初に言い出すこと。 (例:「旅行しようと発案する」など) ②議案を提出すること。 (例:「発案権」など)  前もって心の中で考えておくこと。また、その案や考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」		中国 四国 九州 北海道 東北 開東 北東越 東近 四国 九州 北東		必要+案  Lは/業/ その腕に沿って R①で下に下ろしていく  手話「問題」 + 手話「協議」  「考える」 + 「業」 「考える」 + 「業」 「考える」 + 「業」 「考える」 + 「業」 「さめかみに指文字「ア」を当てて前に弾く 考える+頭から薬 エ夫 + 業  考える+集 エ夫+業  しは/案/ Rは/考える/ 手話「考える」 + 手話「業」  「思いつく」 + 「業」 右手入差指の指先をこめかみに当て弾く + 「業」 6本の指を発明 + 頭から薬 こめかみに当てでから 業 アイデア 案 + 出す	● 組み合わせ	※東北班(2動作目)・九州班(1動作目)の案を採用  人差指で、何かをひらめいた様子を表す手話として、〈発明〉がよく見られる表3 →この表現のみで良いか? →"工夫する"の意味もある。  ⇒〈考える〉+〈発明〉  これは、〈案〉の手話が必要になる。
(例:「考案者」「新しいデザインを考案する」など)  ①案を考え出すこと。ある案を最初に言い出すこと。(例:「旅行しようと発案する」など) ②議案を提出すること。(例:「発案権」など)		四国     九州     北海道 東北     閉東     北尾海     北尾海     北尾海     北田国     九州     北海北     関東     北周国     九州     北海北     東京     北周     東京     北周     東京     北周     北周     北周     北川     和     和     北川     和     北川     和     北川     和		Lは/案/ その腕に沿って R①で下に下ろしていく     手語「問題」 + 手語「協議」  「考える」 + 「楽」 「考える」 + 「楽」 「考える」 + 「楽」 「考える」 + 「楽」     「考える + 頭から楽     工夫 * 楽     考える+集     工夫 * 来     考える+集     工夫 * ま     「恵んづき    」 + 手語「楽」  「思いつく」 + 「楽」  「思いつく」 + 「楽」  右手、影指の指ををのかみに当で弾く + 「楽」  6本の指を発明・頭から楽     こめかみに当てでから 楽     アイデア     楽 + 出す  ※ + 出す  ***  ***  ***  ***  **  **  **  **	•	※東北班(2動作目)・九州班(1動作目)の案を採用  人差指で、何かをひらめいた様子を表す手話として、〈発明〉がよく見られる表3 →この表現のみで良いか? →"工夫する"の意味もある。  ⇒〈考える〉+〈発明〉  これは、〈案〉の手話が必要になる。
(例:「考案者」「新しいデザインを考案する」など)  ①案を考え出すこと。ある案を最初に言い出すこと。(例:「旅行しようと発案する」など) ②議案を提出すること。(例:「発案権」など)		北海道 東北 開東 北信越 東海 近四国 九州 北海道 東北 開東 北信越 東北 開東 北信越 東北 開東 北信越 東北 北海 山田 東北 北海 山田 東北 北海 山田 東北 北海 北海 北海 北海 北海 北海 北海 北海 北海 北海 北海 北海 北海		「考える」+「楽」 「考える」+「楽」 「考える」+「楽」 「考える」+「楽」 「きえる・頭から楽 工夫・ 楽 考える+集 工夫+楽 しは/案/ Rは/考える/ 手話「考える」+手話「楽」 「思いつく」+「楽」 右手人を指の指先をこめかみに当て弾く+「楽」 ためおみに当て次から 楽 アイデア 楽+出す	•	→この表現のみで良いか? →"工夫する"の意味もある。 ⇒<考える>+<発明> これは、<案>の手話が必要になる。
(例:「考案者」「新しいデザインを考案する」など)  ①案を考え出すこと。ある案を最初に言い出すこと。(例:「旅行しようと発案する」など) ②議案を提出すること。(例:「発案権」など)		関東 北信越 東海 近畿 中国 四加州 北海道 東北 関東 北信越 東海 近機 中国 国 九州 北海道		「考える」 + 「楽」 (こめかみに指文字「ア」を当てて前に弾く 考える + 頭から業 工夫 + 楽 考える + 裏 工夫 + 楽 考える + 裏 しは/ 楽/ Rは/ 考える/ 手語「考える」 + 手語「楽」 「思いつく」 + 「楽」 右手入 差指 の指先をこめかみに当て弾く + 「楽」 6本の指を 発明 + 頭から業 こめかみに当ててから 楽 アイデア 楽 + 出 中	•	→この表現のみで良いか? →"工夫する"の意味もある。 ⇒<考える>+<発明> これは、<案>の手話が必要になる。
(例:「考案者」「新しいデザインを考案する」など)  ①案を考え出すこと。ある案を最初に言い出すこと。(例:「旅行しようと発案する」など) ②議案を提出すること。(例:「発案権」など)	-	北信越 東海 近襲 中国 四 九州 北東北 関 間 東北 関 は 東 東 載 東 東 載 東 北 関 東 北 関 東 北 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大		考える+頭から業  工夫 * 業  考える+素  工夫+業  上は/業/ Rは/考える/  季話「考える」+季話「楽」  「思いつく」+「楽」  右手&着の指先をこめかみに当て弾く+「楽」  6本の指を発明+頭から業  こめかみに当てでから 業 アイデア 楽+出す	•	→この表現のみで良いか? →"工夫する"の意味もある。 ⇒<考える>+<発明> これは、<案>の手話が必要になる。
び)  ①案を考え出すこと。ある案を最初に言い出すこと。 (例:「旅行しようと発案する」など) ②議案を提出すること。 (例:「発案権」など)  前もって心の中で考えておくこと。また、その案や考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」		近畿 中国 四国 九州 北海道 東北 関東 北信越 東京 総 中国 四 九州 北海道 東北 関東 北 に 東 の に の に の に の に の に の に の に の に の に	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	考える+業       工夫+業       Lは/策/ Rは/考える/       手話「考える」+手話「楽」       「思いつく」+「楽」       右手人差指の指先をこめかみに当て弾く+「楽」       6本の指を駆用・頭から楽       こめかみに当てでから 楽       アイデア       案+出す	•	⇒<考える>+<発明>  これは、<案>の手話が必要になる。
と。 (例:「旅行しようと発案する」など) ②議案を提出すること。 (例:「発案権」など) 前もって心の中で考えておくこと。また、その案や 考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」	-	中国 四国 九州 北海道 東北 関東 北信越 東海 近域 中国 四国 九州	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	工夫+業 Lは/業/ Rは/考える/ 手話「考える」+手話「楽」 「思いつく」+「楽」 右手人差指の指先をこめかみに当て弾く+「楽」 6本の指を契明+頭から楽 こめかみに当てから 業 アイデア 案+出す	● 組み合わせ	これは、〈案〉の手話が必要になる。
と。 (例:「旅行しようと発案する」など) ②議案を提出すること。 (例:「発案権」など) 前もって心の中で考えておくこと。また、その案や 考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」	-	九州 北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	手語「考える」 + 手語「楽」  「思いつく」 + 「楽」  右手入差指の指先をこめかみに当て弾く + 「楽」  6本の指を発明 + 頭から楽  こめかみに当てでから 楽  アイデア 楽 + 出す	● 組み合わせ	
と。 (例:「旅行しようと発案する」など) ②議案を提出すること。 (例:「発案権」など) 前もって心の中で考えておくこと。また、その案や 考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」	-	東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	右手入差指の指先をこめかみに当て弾く+「案」 6本の指を発明・頭から楽 こめかみに当ててから 楽 アイデア 楽+出す	  組み合わせ	
と。 (例:「旅行しようと発案する」など) ②議案を提出すること。 (例:「発案権」など) 前もって心の中で考えておくこと。また、その案や 考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」	-	関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	右手入差指の指先をこめかみに当て弾く+「案」 6本の指を発明・頭から楽 こめかみに当ててから 楽 アイデア 楽+出す	● 組み合わせ	
②議案を提出すること。 (例:「発案権」など) 前もって心の中で考えておくこと。また、その案や 考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」		東海 近畿 中国 四国 九州 北海道	•	こめかみに当ててから 業 アイデア 案+出す	● 組み合わせ	一十国班(八川班の人来)「〈田・八疋田・30/)/ 7 週 0 (0 ~ 3)。
(例:「発案権」など) 前もって心の中で考えておくこと。また、その案や 考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」		中国 四国 九州 北海道	0	案+出す	組み合わせ	⇒<案>+<土産(プレゼント)>(左手掌の上方に2指をつまんだ右手を置き同弧を描いて前に出す
考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」		四国 九州 北海道	0			
考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」		北海道	•	Lは/案/ Rは/発明(II61)/		※中国班・九州班の案を採用
考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」		東北		手話「楽」+手話「提出」		
考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」		関東	0	(お腹の前で) 「準備」+「案」 腹の前で「隠す・しまう」+「案」		<腹>+<案>としても、いまいち意味が伝わらない。 →<腹>を指差して、お腹の中に何かがあることを示す表現はどうか? →お腹に赤ちゃんがいるように見える。
(例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」	1	北信越	0	自信+頭から案		
(4C)	-	東海 近畿	•	腹 + 案内+案	組み合わせ	→表現として適しているのは、東北班の(お腹の前で)<準備>+<案>
		中国	•	心の中+案		⇒(お腹の前で)<準備>+<案> ※東北班の案を採用
		九州	•	上は/案/ Rは/腹/ 手話「準備」+手話「楽」		A. スペルルの木と1水川
	-	北海道 東北		「良い」+「楽」		
		関東	•	「素晴らしい」+「案」		く良い>+く案>と、くすばらしい>+く案>がある。
非常によい考え。すばらしい思いつき。名案。	-	北信越 東海	Ο Δ	良い+頭から案 名案に同じ	<b>♦ 1 1 1</b>	→多数決でくすばらしい〉+<案>
(例:「妙条か浮かふ」「難向打開の妙条」など)		近畿	7	すばらしい+案	- 組み合わせ	⇒<すばらしい>+<案> ※関東班・近畿班・九州班の案を採用
		四国	0	立派+条 Lは/案/ Rは/素晴らしい/		
		九州 北海道	•	手話「素晴らしい」+手話「楽」		
		東北	•	「基本」+「案」	1	「素案」「草案」と似て非なるもの。 →"もとになる案"なので、<基づいて・元>+<案>が適している。  ⇒<基づいて・元>+<案>
もとになる案。特に、会議などに提出された、最		北信越	0	元+頭から案	+	
(例:「原案を一部修正する」「原案どおり可決」		東海			組み合わせ	
なと)		中国	•	元+案		※東北班・関東班・北信越班・近畿班・中国班・九州班の案を採用
	-	九州	•	Lは/案/ Rは/原(元)/ 手話「基」+手話「案」	_	
		北海道		Chhara I filia		これは、文字通りにく試す>+<案>となる。  ⇒<試す>+<案> ※東北班・関東班・北信越班・近畿班・四国班・九州班の案を採用
		関東	•	[試す] + [楽]		
試みに立てた案。仮の計画や意見。		北信越東海	0	試し+頭から案 仮+客	•	
E		近畿	•	試す+案	→ 組み合わせ	
		中国四国	0	例+案 Lは/案/ Rは/試す/		
		九州	•	手話「試みる」+手話「楽」		
		東北	ア	「基本」の左手下に右手で「草」+「案」		「素案」「原案」と似て非なるもの。 →文字通り、〈草〉+〈案〉が適している。  ⇒〈草〉+〈案〉 ※四国班の案を採用
文章、特に規約、法律などの下書き、原案のこと をいう。	_	関東	0		● . 組み合わせ	
(例:「草案を練る」など) 「草案」の「草」とは「木になる前の段階」から転じ		北信越 東海	Δ	前+頭から案 原案に同じ		
て、「本格的に行う前段階」を意味する。草稿、起草、詩草なども同じ用法の「草」。		近畿	•	下十架		
		四国	0	L ti/案/ R ti/草/		
出された問題に対して書いた答え。 (例:「答案用紙」など)		北海道	7	手話「過去」+手話「基」+手話「案」		つまるところ、〈答え〉と同様である。  ⇒ 〈答える・報告〉にラベル追加(A)  ※関東班・北信越班・東海班・近畿班・中国班・四国班の案を採用 逆の動作で、答てもらう場合もある。  ⇒ 〈答える〉の逆動作(B)
		東北	•	「答」+「案」		
		北信越	Δ	答え	Δ	
		東海近畿	Δ	<ul><li>答えに同じ</li><li>答え</li></ul>	ラベル追加	
		中国	Δ	答え	7	
		九州	•	答え 手話「答える」+手話「紙」		
		北海道 東北	•	「簡単」+「案」	+	
原案になる前の、大もとの老え 家		関東	•	「ほとんど・ほぼ」+「案」	7	「原案」「草案」よりも、もっと初歩的なもの。 →大もとになるものでもあり、何かのきっかけとなるものでもある。 ⇒<きっかけ>+<案>
まとまった案にする前のもっとざっくりとした状態 のもの。 (例:「素案を示す)など)		東海	•	指文字 そ+ 案	<ul><li>●</li><li>組み合わせ</li></ul>	
		近畿中国	γ •	基礎のソナ案 全て十案	血の口がで	
			0	上は/案/ Rは/「ソ」/	‡	
		四国	_			
			•	指文字「ソ」+手話「案」		
		四国 九州 北海道 東北	7	「事件」の左手+「桨」		
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。	-	四国 九州 北海道 東北 関東	* ************************************	「事件」の左手+「楽」 「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 げる	_	<ジ>+<案>か、<事>+<案>か? →<事件>→<事件>→<事件>→<事件>→<事件>→<事件>→<事件>→<事件>
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。 主に法的や政治的な問題として着目する出来 事。		四国 九州 北海道 東北	7	「事件」の左手+「楽」 「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 げる 事+頭から楽 ※「事件」「事例」の元 事 + 楽	- - - - 合成	<ジ>+ <案>か、<事> + <案>か? → <事件>や<事故>等は、左手で<事>の手話を使う。 → <事案>も同様に<事> + <案>とした方が良い。
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。	-	四国 九州 北海道 東北 関東 北信越	*	「事件」の左手+「楽」 「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 げる 事+頭から楽 ※「事件」「事例」の元		→<事件>や<事故>等は、左手で<事>の手話を使う。 →<事案>も同様に<事>+<案>とした方が良い。 ⇒<事>+<案>(合成)
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。 主に法的や政治的な問題として着目する出来 事。 (例:「著作権の所在は、事案により異なる」な		四国 九州 北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国	7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	「事件」の左手+「業」 「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳れ、 げる 事・頭から業 ※「事件」「事例」の元 事・業 事+業 しは/業/ Rは/事/		→<事件>や<事故>等は、左手で<事>の手話を使う。 →<事案>も同様に<事>+<案>とした方が良い。
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。 主に法的や政治的な問題として着目する出来 事。 (例:「著作権の所在は、事案により異なる」な		四国 九州 北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国	7 O	「事件」の左手+「楽」 「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳れ」 げる 事+頭から楽 ※「事件」「事例」の元 事 + 楽 事+楽  じ指文字+楽		→<事件>や<事故>等は、左手で<事>の手話を使う。 →<事案>も同様に<事>+<案>とした方が良い。 ⇒<事>+<案>(合成)
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。 主に法的や政治的な問題として着目する出来 事。 (例:「著作権の所在は、事案により異なる」な		四国     九州     北海道 東北     関東     北信越 東流     近畿     中国     九州     北市	7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	「事件」の左手+「楽」 「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 げる 事・頭から楽 ※「事件」「事例」の元 事・ 栄 事・栄 し指文字+楽 しは/第/ Rは/事/ 指文字・ジ」+手話「楽」		→<事件>や<事故>等は、左手で<事>の手話を使う。 →<事案>も同様に<事>+<案>とした方が良い。 ⇒<事>+<案>(合成)
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。 主に法的や政治的な問題として着目する出来事。 (例:「著作権の所在は、事案により異なる」など)		四国 九州 北海道 東北 閉康 北信越 東近 東近 四国 九州 北海道 東北 東近 東 東近 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東		「事件」の左手+「楽」 「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 げる 事・頭から楽 ※「事件」「事例」の元 事・ 楽 事・業  正指:字十楽 しは/案/ Rは/事/ 指文字「ジ」+手話「楽」 「邪魔」+「楽」 「なかなか」+「歳ぐ・早急に」 決められない回す・頭から楽	合成	→ < 事件 > や < 事故 > 等は、左手で < 事 > の手話を使う。 → < 事案 > も同様に < 事 > + < 案 > とした方が良い。 ⇒ < 事 > + < 案 > (合成) ※関東班の案を採用  "まだ解決されていない事柄"
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。 主に法的や政治的な問題として着目する出来 事。 (例:「著作権の所在は、事案により異なる」など)		四国 九州 北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東北 明東 明 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田		「事件」の左手+「楽」  「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 げる  事・頭から楽 ※「事件」「事例」の元  事・ 業  事・業  し指文字+楽  しは/案/ Rは/事/  指文字「ジ」+手話「楽」  「死魔」+「楽」 「なかなか」+「歳ぐ・早急に」		→ < 事件 > やく事故 > 等は、左手でく事 > の手話を使う。 → < 事案 > も同様に < 事 > + < 案 > とした方が良い。 ⇒ < 事 > + < 案 > (合成) ※関東班の案を採用 "まだ解決されていない事柄" → これに対応して、ろう者の間でよく使われる表現は < 持て余す・宙に浮く >
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。 主に法的や政治的な問題として着目する出来事。 (例:「著作権の所在は、事案により異なる」など)  前から問題になっていながら、まだ解決されていない事柄。		四国     九州     北海道 東北     関東     北信越 東流     東高越 中国国     九州     北海     北京越 中国国     九州     北京     間東     北京     東京     武蔵     中国     北京     田田     北京     田田     北京     田田     北京     田田     北京     田田     北京     田田		「事件」の左手+「楽」 「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 げる 事+頭から楽 ※「事件」「事例」の元 事 + ※ 事+案 し指文字+楽 しは/第/ Rは/事/ 指文字「ジ」+手話「楽」 「邪魔」+「楽」 「がなか」+「楽」 「がなか」+「底ぐ・早急に」 決められない回す+頭から楽 繰り返す + 楽 まだ+案	○ 合成 - - - -	→ < 事件 > や < 事故 > 等は、左手で < 事 > の手話を使う。 → < 事案 > も同様に < 事 > + < 案 > とした方が良い。 ⇒ < 事 > + < 案 > (合成) ※関東班の案を採用  "まだ解決されていない事柄"
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。 主に法的や政治的な問題として着目する出来事。 (例:「著作権の所在は、事案により異なる」など)  前から問題になっていながら、まだ解決されていない事柄。		四国     九州     北海道 東北     閉信起 東北     京海     近畿 中国国     九州     北海道 東北     東北     東     北高超 東北     東     北海     北海     東     北海     北海     東     北海     東     北海     東     北海     東     北海     東     北海     東     北原		「事件」の左手+「楽」 「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 「す」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 「す。 事・衆 事・衆 事・衆 しば、寒/ Rは/事/ 指文字「ジ」+手話「楽」 「宛かなか」+「蔵ぐ・早急に」 失められない回す・頭から楽 繰り返す・ 楽 まだ・楽 まだ・楽	○ 合成 - - - -	→ < 事件 > やく事故 > 等は、左手でく事 > の手話を使う。 → < 事案 > も同様に < 事 > + < 案 > とした方が良い。 ⇒ < 事 > + < 案 > (合成) ※関東班の案を採用 "まだ解決されていない事柄" → これに対応して、ろう者の間でよく使われる表現は < 持て余す・宙に浮く >
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。 主に法的や政治的な問題として着目する出来事。 (例:「著作権の所在は、事案により異なる」など)  前から問題になっていながら、まだ解決されていない事柄。		四国 九州道 東北 関係 東北 に 関係 東 北 に の の の の の の の の の の の の の の の の の の		「事件」の左手+「楽」  「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 げる  事・競ット頭から楽 ※「事件」「事例」の元  事・業  事・業  事・業  しは文字+楽  しは/案/ Rは/事/ 指文字「ジ」+手話「楽」  「宛かなか」+「盛ぐ・早急に」 決められない回す・頭から楽 繰り返す・・楽 まだ・楽 まだ・楽 問題 そのまま 手話「ひっかかる」+手話「心配」	○ 合成 - - - -	→<事件>や<事故>等は、左手で<事>の手話を使う。 →<事案>も同様に<事>+<案>とした方が良い。  ⇒<事>+<案>(合成) ※関東班の案を採用  "まだ解決されていない事柄" →これに対応して、ろう者の間でよく使われる表現は<持て余す・宙に浮く> ⇒<持て余す・宙に浮く>にラベル追加  意味的に、<案>の手話を使うのはそぐわない。
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。 主に法的や政治的な問題として着目する出来事。 (例:「著作権の所在は、事案により異なる」など)  前から問題になっていながら、まだ解決されていない事柄。		四国     九州道 東北     閉信超 東北 東北 北京越 東北 東北 北京越 中四国 九海道 東北 関信を 東 北京 東 北		「事件」の左手+「楽」 「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 「す」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 「す。 事・衆 事・衆 事・衆 ま・業 しは、第/ Rは/事/ 指文字「ジ」+手話「楽」 「なかなか」+「蔵ぐ・早急に」 決められない回す・頭から楽 繰り返す・・楽 まだ・楽 まだ・楽 まだ・楽 まだ・楽 まだ・楽 まだ・楽 まだ・楽 ま	○ 合成 - - - -	→<事件>や<事故>等は、左手で<事>の手話を使う。 →<事案>も同様に<事>+<案>とした方が良い。  ⇒<事>+<案>(合成) ※関東班の案を採用  "まだ解決されていない事柄" →これに対応して、ろう者の間でよく使われる表現は<持て余す・宙に浮く> ⇒<持て余す・宙に浮く>にラベル追加  意味的に、〈案〉の手話を使うのはそぐわない。 →ろう者の間で使われる表現は何か? →①〈考える〉+く引き出す〉、②〈考える〉+中央に向けて、盛るように両司
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。 主に法的や政治的な問題として着目する出来事。 (例:「著作権の所在は、事案により異なる」など)  前から問題になっていながら、まだ解決されていない事柄。 (例:「懸案事項」「年来の懸案」など)		四国     九州道 東北 関係信越 東北 信越 東地 に高越 中国国 九州道 東北 には 東地 には 東地 には 東地 には 東地 には 東北 には		「事件」の左手+「楽」 「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 「す」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 「す。中 楽 事・業 事・業 事・業 したな学・楽 したな学・楽 したな学・展は/事/ 指文字「ジ」・手話「楽」 「邪魔」+「楽」 「なかなか」+「直ぐ・早急に」 決められない回ナー頭から楽 繰り返す + 楽 まだ・楽 まだ・楽 まだ・楽 まだ・楽 まだ・楽 手話「ひっかかる」+手話「心配」	○ 合成 - ラベル追加 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	→ <事件 > やく事故 > 等は、左手でく事 > の手話を使う。 → <事案 > も同様に〈事 > + 〈案 > とした方が良い。  ⇒ <事 > + 〈案 > (合成)  ※関東班の案を採用  "まだ解決されていない事柄" → これに対応して、ろう者の間でよく使われる表現は〈持て余す・宙に浮く〉 ⇒ 〈持て余す・宙に浮く〉にラベル追加  意味的に、〈案 > の手話を使うのはそぐわない。 → ろう者の間で使われる表現は何か? → ① 〈考える〉 + 〈引き出す〉、② 〈考える〉 + 中央に向けて、盛るように両引交互に動かす。③ 〈色々〉 + 〈考える〉、④ 〈総合〉 + 〈考える〉
(例:「素案を示す)など) 問題あるいは問題にすべき物事。 主に法的や政治的な問題として着目する出来事。 (例:「著作権の所在は、事案により異なる」など)  前から問題になっていながら、まだ解決されていない事柄。 (例:「懸案事項」「年来の懸案」など)		四国     九州    北海北     財    東北     財    東    北信海     北信海     北信海     北市    市    市    市    市    市    市		「事件」の左手+「楽」 「事」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 「す」を表した左手人差指に右手指文字「ア」の親指先を当て跳ね」 「す・無ない。 「事・ ** 事・業 事・業 事・業 「北 **** 上 は *** 上 は *** 上 は *** 上 は *** 一 「 *** 「 *** 「 *** 「 *** 「 *** 「 *** 「 *** 「 *** 「 *** 「 ***	○ 合成 一 うべル追加	→<事件>や<事故>等は、左手で<事>の手話を使う。 →<事案>も同様に<事>+<案>とした方が良い。  ⇒<事>+<案>(合成) ※関東班の案を採用  "まだ解決されていない事柄" →これに対応して、ろう者の間でよく使われる表現は<持て余す・宙に浮く> ⇒<持て余す・宙に浮く>にラベル追加  意味的に、〈案〉の手話を使うのはそぐわない。 →ろう者の間で使われる表現は何か? →①〈考える〉+く引き出す〉、②〈考える〉+中央に向けて、盛るように両司
	(例:「妙案が浮かぶ」「難局打開の妙案」など) もとになる案。特に、会議などに提出された、最初の案。 (例:「原案を一部修正する」「原案どおり可決」など)	(例:「妙案が浮かぶ」「難局打開の妙案」など)  もとになる案。特に、会議などに提出された、最初の案。 (例:「原案を一部修正する」「原案どおり可決」など)	非常によい考え。すばらしい思いつき。名案。 (例:「妙案が浮かぶ」「難局打開の妙案」など)  もとになる案。特に、会議などに提出された、最初の案。 (例:「原案を一部修正する」「原案どおり可決」 など)  は職権 理北 関末 北海道 東北 関東 北海道 東北	非常によい考え。すばらしい思いつき。名案。	非常によい考え。すばらしい思いつき。名案。 (例:「妙楽が浮かぶ」「難局打開の妙案」など)	#常によい考え、すばらしい思いつき。名案。 (例:「妙楽が浮かぶ」「難局打開の妙楽」など)  #

			11. No. 14.				
			北海道 東北	•	「調べる」+「楽」		これも、意味的に<案>の手話を使うのはそぐわない。
14		①刑事訴訟で、特別の知識・経験のある者が行	関東	•	「調べる」+左掌に右手親指の腹を付ける。 Cf. 検案書:「検案」+両手人差指で四角を描く(書類)		→意味的には"調べる"ということ。 →検案の「検」は漢字通りとし、検察の表現を用いる。
	検案	う鑑定。形跡や状況などを調べ考えること。 ②医師の診察を受けずに死亡した者の死体につ	北信越東海	0	確認+頭から案 調べる+案	● 組み合わせ	⇒<検察・検察官>+<調べる>
		いて、死亡事実を医学的に確認すること。 (例:「死体検案書」など)	近畿	7	調べる+印鑑を押す	か丘 クトロ 4フ ピ	→合わせて、関連する用語についても検討した。
			中国四国	0	検+案 Lは拳を作り それに向けて Rは/調べる/		⇒<死ぬC><死体><遺体B><検視>追加
			九州	7	手話「調べる」の指先を相手に向ける。		一、元660人、元件人、医件5人、快几人运加
			東北	保	右手拳(爪のある面)を額にあてる		保存手話で"拍子抜け"といったような意味で使われる表現がある。(握りこぶしを
	75 2.	お産する前は本人も周囲の人も色々と心配する ことが多いが、終わってみると案外たやすく済ん	関東 北信越	0	保留 考える+意外+大丈夫		にあてる) →しかし、「案ずるよりも産むが易し」は、成功する意味合いがある。
1	案ずるより産 むがやすし	でしまうものであるということ。 出産に限らず、物事は事前にあれこれ思い悩む	東海	保	案外+簡単	● 組み合わせ	→ 意外とたやすくできた。という意味では、< 意外>+< 簡単>
	0 ( ) 0	よりも、実際はそれほど難しくないということ。	近畿中国	保	意外と簡単 考える+意外+簡単		⇒<意外A>+<簡単·平易>
			四国	保	/考える/ + /外れる/ + /簡単/ 手話「心配」+手話「本番」+手話「簡単」		※東海班・近畿班・中国班の案を採用
			北海道	Ť			
			東北関東	•	「最高」+「最色」 「最色」+「最高」	● 組み合わせ	<景色>+<最高>か、<最高>+<景色>。 →ろう者がよく使うのは、<景色>+<最高>
	#v24	ほかにたとえようもない、すばらしい景色。	北信越	0	最高+眺め 最高+景色		
3	絶景	(例:「天下の絶景」「ここより眺望できる景色は 絶景だ」など)	東海 近畿	7	取高す家巴 景色+すばらしいをアレンジ		⇒<景色>+<最高>
			中国四国	•	素晴らしい+眺め       /景色/ + /素晴らしい/		※関東班の案を採用
			九州	•	手話「最高」+手話「景色」		
			北海道 東北	Δ	「スタッフ」と同じ		
		  船や航空機に乗り組んで船内や機内の仕事をす	関東 北信越	•	「飛行機/パス・・・(該当する乗物を表現)」+「仕事」+右手人差指 を乗物の辺りで回す 乗り物+スタッフ		全ての乗物に使えるよう、船や飛行機などに特定せず、左手掌を乗物に見立てる →「員」の手話も、幅広く使うことを考えると、〈スタッフ〉が適している。  ⇒左手掌に右手2指を乗せて同時に前に出す+〈スタッフ〉 ※北信越班の案を採用
3		る人。運転士・車掌・操縦士・スチュワーデスな	東海	•	来り物キスクック 乗る+仕事+員	ア アレンジ	
	<b>—</b>	員 C。 (例・「漁船の乗組員)「客室乗務員」など)	近畿中国	•	α+仕事+員 (α:船、電車とか) 乗る+仕事+員	,,,,,	
			四国	•	船あるいは飛行機 の形に①②を乗せ + /人々/		
H			九州	•	栗組員・手話「船」+手話「員」。乗務員・手話「飛行機」+手話「身		
			東北	アア	両掌で「遊ぶ」の動き+「場所」 「遊ぶ」+両手2指を向い合せて広めに置く(決められた場所を示		
	テーフパーク	特定のテーマに基づいて、施設・イベント・景観などが総合的に構成され演出されたレジャーラン	北信越	0	す) デーマ+場所 (6つ) を回す	•	「テーマパーク」の意味が分かる人は多い。
38	(theme park)	ド。東京ディズニーランド開園を機に、遊園地と区	東海近畿	•	テーマ + 原 テーマ+遊園地	● 組み合わせ	⇒<テーマ>+(左手は残して)<場所>(<公園>の右手) ※北信越班・四国班の案を採用
		別されるようになった。	中国				
			九州	7	/テーマ/ + /場所/で円を描く 手話「遊園地」の手話の「場所」を3回繰り返す。		
39			北海道東北	ア	「リュック」+人差し指で3度程前に進む		バックパックなお台って女行するしのこと
			関東	7	両手の 5 指を曲げて左右の肩から胸へ同時に下ろす (リュックの肩   銀) + 「旅行」 +男(女)		
	パックパッカー	低予算で国外を個人旅行する旅行者のことを指 - して使われてきた言葉である。 パックパック(リュックサック)を背負って移動する 者が多いことから、この名がある。	北信越	0	リック+旅行 背負う+旅行者	•	バックパックを背負って旅行する人のこと。
	(backpacker)		東海 近畿	• 7	背負う+豚行者 観光+リュックを片手で背負う	組み合わせ	⇒バックパックを背負う仕草+<旅行>+左手残して、右手<人々> ※関東班・東海班・中国班の案を採用
			中国四国	•	リュック+旅行+者 /リュック/ + 車輪のイメージ		and the second s
			九州	•	手話「リュック」+手話「歩く」		
			北海道 東北		「乗る」+「ロ」		主に、飛行機に乗る時に使われる言葉。
		主に飛行機などの乗り物に乗り込む際に使う、一機ごとに空港内に割り当てられた出入り口のこと。	関東	0	左手で指先を下に向けて指文字「C」。その隣に右手で「飛行機/バス /船・・・(該当する乗物を表現)		→<飛行機>の手話は必要。 →最近は、Eチケットを用いて、電車の改札のようにゲートが開く形が主流。
4	搭乗口		北信越東海	0	乗る+開く 乗る+ロ	(i) (for T = T	⇒左手<飛行機>+右手<開場>(合成) →合わせて、関連する用語についても検討した。 ⇒<出入口><改札口>追加
	П		近畿	•	飛行機+扉を開ける	創作手話	
			中国四国	0	/飛行機/ + ゲートを作って横に置く		
			九州	7	左手手話「飛行機」に右手で「ドア」の様子。		
			東北	7	「ヨーロッパ」(少し大きめに回す)+「パス」	● 組み合わせ	平たく言えば、"ヨーロッパを旅行するときに使うパスポートのようなもの" ⇒<ヨーロッパ>+<旅行>+<パスポート>の2動作目
	7 -1 -2 11 -8	ユーレイル:ヨーロッパを鉄道で楽しく快適に旅	関東	7	「ヨーロッパ」+片手で「電車」+両手の2指を折り曲げて向い合せ カードを表す		
4		ユーレイルパ するための手段。 ス ユーレイルパス:ヨーロッパ28カ国を周遊できる 鉄道甲炉一乗車券 ユーロッパを国の同様と特	北信越東海	0	ヨーロッパ+切符 左手で「e」、左手の下で、右手「電車」+切符		
	(Eurailpass)		近畿中国	<i>P</i> ●	ヨーロッパ+定期券を出す様子 ヨーロッパ+汽車+チケット		
			四国	0	/ヨーロッパ/ を回し、/切符/を合体させる		
			九州	•	左手指文字「E」+右手手話「旅行」+手話「パス」		
			東北	保	ボードを見せる仕草+親指を立てて動かす 左手親指を立ててやや上に出し、その下で右手「車」を数回通過させ	◎ - 創作手話	これは、イメージ通りの表現になる。 ⇒行き先を書いた紙を両手で持つ動作+左手そのままで、右手親指を2回小さくに振る。 ※東北班・近畿班の案を採用
		通りがかりの自動車に無料で乗せてもらって続け	関東 北信越	•	大況と同じ		
4:	ヒッチハイク	る旅行。 <b>ヒッチ</b> :カギやロープなどを「引っ掛ける」の意味	東海近畿	•	親指を立て、車+乗る カード+親指を立てる		
		ハイク:歩く	中国	•	車+グッドの形		
			四国 九州	0	③を立て車を停める様子 + /車/ 左手観指を立てる。+右手手話「停車」		
			北海道				
43		"Full adult   Bu	東北関東	•	「E」「D」+「カード」         指文字「E」「D」+両手人差指で四角を描く (カード)		これは、文字通りそのままの表現になる。 ⇒(日本式指文字) <e>+ <d>+ &lt;カード&gt; ※東北班・関東班・北信越班・東海班・中国班・四国班の案を採用</d></e>
	BDカード	"Embarkation Disembarkation Card" の略称。 外国人が、その国に入国またはその国から出国 する際に、提出を義務づけられる用紙。 氏名、国籍、国内滞在中の住所などを記入する。	北信越東海	0	ローマ指文字「D」「E」+四角 (空書き) 日本の指文字 E + D + カード	WE 27 A 3	
	こしり一下		近畿	0	出入り+カード	組み合わせ	
			中国四国	•	ED + / n - F / E D + / n - F /		
H			九州	×	イメージできません。		
			北海道東北	•	「最高」+「席」		
		東北・北海道新幹線と北陸新幹線で提供されている特別車両である。 グリーン車よりもさらに上位の座席とサービスを 提供する車両という位置づけで、航空機のファー ストクラスやかつての国鉄の三等級制時代の一 等車に相当する。	関東 北信越	•	「最高」+「席」 最高+座る		一部の新幹線で提供されている"最高の席"である。 ⇒ < 最高> + <席> ※東北班・関東班・北信越班・近畿班・四国班の案を採用
4	グランクラス		東海	•	日本の指文字 G + 階級	● 組み合わせ	
			近畿中国	•	最高+席		
			四国九州	7 ×	/最高/ のRをさらに上に持っていき + /席/ すみません。北海道班に任せます。		
H		路線: ①自動車・鉄道・航空機が運行される経路を線として表示したもの。海上運送では航路という。 ②始点から経過地を通り終点にいたる道路の位置を示す線。 ③ 政党などの掲げる運動の方向。 (例:「反核 平和路線」など) 路線図:	北海道			● 組み合わせ	鉄道やバスなど、交通機関を用いる際に必要な地図である。  ⇒ < 交通機関 > の1動作目 + < 地図 >  ※北信越班・近畿班の案を採用
			東北	0	「ロ」で「マップ」 両手人業指で四角を描く(地図の輪郭)。その中に両手人業指で複雑		
			関東 	0	両手人差指で四角を描く(地図の輪郭)。その中に両手人差指で複雑 に線を描く(入り組んだ路線を表す) 交通+地図		
4	路線図		東海	0	左右に両手を開き、四角を描く(図)		
			近畿 中国	•	電車+地図 方向+地図		
		鉄道・バスや道路、送電線等の路線・施設(停留所等)の接続・配置関係を相対的に示した図表。	四国	•	L拳から、R五指を開いて上に出す + /紙/		
-			九州	•	手話「交通」+手話「地図」		
		①神・仏・聖人や宗教の発祥などに関係が深く、 神聖視されている土地のこと。	東北	•	「憧れ(希望)」+「場所」	● 組み合わせ	とても大事な場所である。 → < 大事 > + < 場所 > や、< 憧れ > + < 場所 > では、弱い。 → 敬意や、崇拝の念が入る。 ⇒ < 崇める > (頭を下げながら < 尊敬 > ) + < 場所 > ※北信越班・近畿班の案を採用
		神聖視されている土地のこと。 (例:「聖地エルサレム」「聖地巡礼」など). ②特定の分野において重要な場所。あこがれの場所。	関東 北信越	0	「特別」+「大切」+「場所」 尊敬+場所		
4	聖地		東海近畿	•	理想 + 場所 神 + 場所		
		(例:「高校球児の聖地甲子園」 転じて小説やアニメ、ゲームなどの舞台となった	中国	•	貴重+場所		
		土地もそう呼ばれることがある。	四国 九州	© •	/場所/ Sを描くように斜め上にゆっくり移動 手話「尊重」+手話「場所」	4	
1	1	1	70m		e and example of MM 1900XLD		

		北海道				
		東北	保	「焼く」+芋を割る仕草	保	これは保存手話がある。  ⇒焼き芋を折る動作+<さつまいも> ※東北班(2動作目)・東海班(2動作目)・九州班(2動作目)を採用
		関東	•	「煮る」(焼く)+「サツマイモ」		
		北信越	7	焼きながら割れる		
47 焼き芋	焼いたさつまいも。特に、さつまいもを加熱した小	東海		焼く + 芋を割る仕草		
サ/ 焼き手	石に埋めて焼いた石焼きいも。	近畿	7	さつまいもを頻張る様子	保存手話	
		中国	•	焼き+イモ		
		四国	0	焼さ+イモ 包み込む動作 + /芋/		
		九州				
			•	手話「焼く」+芋を折る仕草。		
		北海道			ア アレンジ	各班からの案のなかで最も適しているのは、四国班の<見つけた>(素早く)。 ⇒<見つけた>(素早く)。 ※中国班・四国班・九州班の案を採用
		東北	保	数字「6」の形を目に近づけ、引き金を引く仕草		
	① 見つけるのがすばやい。目が早い。 (例;	関東	保	人差指で眼を指して、前に向かって「すぐ」		
×475	「目敏く見つける」など)	北信越	0	目鋭い(両手)		
48 自敏い	② わずかの物音などで目がすぐさめる。 (例:	東海	•	目に素早く「取る」		
	「老人は目敏い」など)	近畿	保			
		中国	Δ	①鋭い		
		四国	ア	すばやく/見る/表現をする		
		九州	保	二指を曲げた右手を目の前から斜め上へ上げる。 (九州地方で使う)		
		北海道				プリンと似ながらも、やや異なるのがゼリー。 →ブリンと分かりやすく違うのが、柔らかさ(プリンは崩れるが、ゼリーは崩れにく
		東北	•	左手「ゼ」右手で「プリン」		
		関東	•	両手の親指と4指の指先を向い合せ、指を柔らかく交互に上下させる (柔らかい) +「ブリン」		
	①ゼラチンを溶かし、砂糖・香料を加え、型に流し	北信越	0	プリンと似たような上下ぶるぶる	$\bigcirc$	フランと対象ライクへ建プログルで来りからくアランには紹介の思わくとラーには紹介のにく
49 ゼリー	込んで固めた菓子。	東海	•	指文字「ぜ」+プリン	○ 合成	⇒左手掌の上で右手<柔らかい>
	②くだものの汁に砂糖を加えて煮詰めた食品。	近畿	ア	指文字の「ゼ」+「プリン」	※北信越班の案を採用	
		中国	•	ゼ 指文字+プリン		
		四国	•	/ジュース/ + /プリン/		
		九州	•	指文字「J」+手話「ブリン」 (但し、揺らさない)		